

名 称	令和2年度 道路講習会 (オンライン開催)		
実施日	令和2年12月4日(金)	実施場所	建設コンサルタンツ協会関東支部 会議室
参加者数	96名 (会員89名 (33社)、委員会事務局7名)		

実施目的

本講習会は、コロナ禍の道路利用に変化が現れている中、社会資本整備（特に道路政策）への影響・動向がどのようになっているか、そして設計者として安全対策（設計）をどのように考えていくべきか、といった視点から、当協会に所属する会員の若手技術者をはじめ、道路関連技術者を対象とした講演を行うものである。

実施概要

1. 開催概要

今回で23回目となる本講習会は、令和2年12月4日（金）13時20分～16時40分に下記プログラムに沿って開催した。なお、今回は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、Zoomを活用したオンライン方式での開催とした。外部より専門の講師を招き講演いただくとともに、各講演後にはZoomのチャット機能を利用した質疑応答を行った。

また、当道路専門委員会で取り組んでいる「交差点設計のポイント」の作成について概要を紹介した。

●令和2年度 道路講習会 プログラム

13:20 ～13:40	講習会に関する注意事項等	道路専門委員会 行事WGリーダ 横川 忠史
	主旨説明・開会挨拶	道路専門委員会 委員長 久保 卓人
13:40 ～14:30	講演Ⅰ 「2040年、道路の景色が変わる ～人々の幸せにつながる道路～」	国土交通省 道路局企画課 藤浪 武志 様
14:30～14:35	休憩(5分)	
14:35 ～15:25	講演Ⅱ 「自転車通行に対する安全対策の留意点」	警視庁 交通部交通規制課 安全施設係 主査 海老澤 綾一 様
15:25～15:30	休憩(5分)	
15:30 ～16:20	講演Ⅲ 「信号交差点における交通安全対策の現状と課題」	公益財団法人 日本交通情報センター 通信施設部 専門役 ※視庁指定シブ広域指導官 新倉 聡 様
16:20 ～16:35	道路専門委員会活動の取組 「交差点設計のポイント」について	道路専門委員会 品質WGリーダ 宮坂 好彦
16:35 ～16:40	講評・閉会挨拶	道路専門委員会 副委員長 橋本 幸樹



2. 講演内容

①講演Ⅰ；「2040年、道路の景色が変わる ～人々の幸せに繋がる道路～」

- ・持続可能な社会「日本全国どこにいても、だれもが自由に移動、交流、社会参加ができる社会」「世界と人・モノ・サービスが行き交うことで活力を生み出す社会」「国土の災害脆弱性とインフラ老朽化を克服した安全安心して暮らせる社会」に向けた具体的な施策、方向性を紹介。
- ・歩行者利便増進道路～ほこみち～について、制度の概要、構造基準を示すとともに、道路空間再構築の具体的事例や歩行者利便増進道路における道路占用特例、コロナ占用特例の概要について講演。

②講演Ⅱ；「自転車通行に対する安全対策の留意点」

- ・自転車に関する交通法規を紹介。
- ・「自転車道」「普通自転車専用通行帯」「車道混在」それぞれの形態について、具体的な安全対策の事例を示しながら、自転車通行環境整備における留意事項を講演。

③講演Ⅲ；「信号交差点における交通安全対策の現状と課題」

- ・信号機に着目し、設置位置や適正な表示について、海外も含め多くの事例をもとに現状での問題を提起。
- ・歩車分離、時差式信号や横断歩行者対策等の安全対策について講演。

④道路専門委員会の取組；「交差点設計のポイント」について

- ・道路専門委員会品質 WG で取り組んでいる「交差点設計のポイント」について、作成方針や過去の講習会でのアンケート結果等に基づき設定した作成テーマの紹介および利用にあたっての注意点を説明